

スポーツラバーフロア

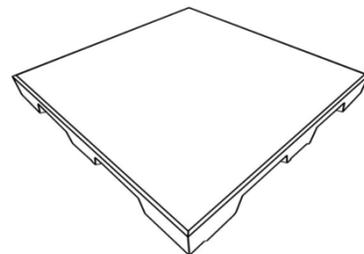
(プラジョイントタイプ)

タイルの設置に関する推奨事項

①保管とハンドリング

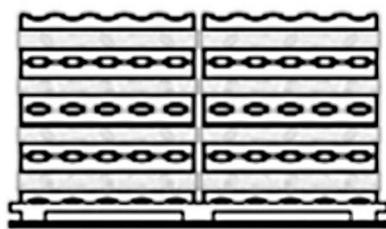
A. 材料は開封せずに元の梱包のまま現場に届けてください。

B. 材料は清潔で乾燥した平らな場所に保管してください。



C. タイルを雨、火気、直射日光、ヒーター、ラジエーターなどの熱源から遠ざけて、寸法や色の変化を防いでください。

D. 材料の積み重ねは 1.5 メートル以下にしてください。表面の変形を避けるために、仕上面同士、裏面同士を面合わせにしてください。(イラスト参照)



E. タイルは、燃料、油、溶剤、化学物質、大きな温度変化、または含水率が高い場所では使用しないでください。

② 下地について

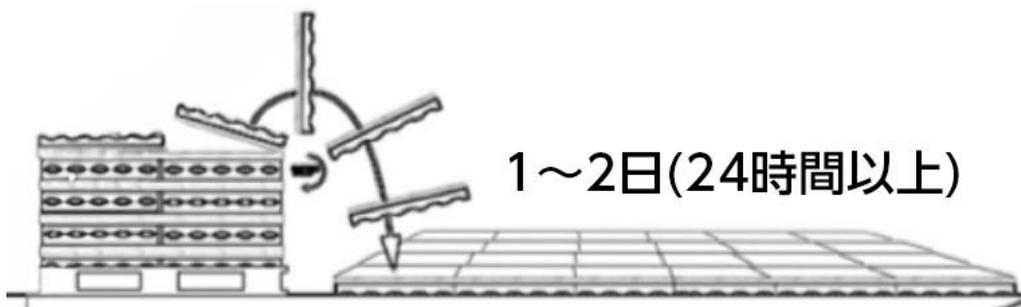
- A. 下地は、硬質で水平、乾燥して清潔、構造的に丈夫であり、ほこり、塗料、油などを含まない状態にしてください。



- B. 下地がスムーズで平滑であることを確認してください。下地に不陸があるとタイルの表面に不陸が発生します。

③ 施工準備

- A. 取り付ける前に、梱包からタイルを取り出し、最低 24 時間、地面に仮置きして室温に順応させます。

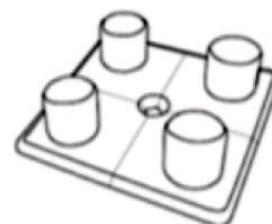


- B. 施工を始める前に、目視で材料に欠陥がないか確認してください。
- C. 光の角度によって色が変化することがあります。あらかじめ目視で確認しながら材料を入れ替えて、自然に仕上がるようにしてください。
- D. 使用する接着剤に応じて、下地の湿度が適しているか確認してください。

④屋内への施工

A. 可能な限り、タイルが同じ周囲条件で設置されるように、設置は1日で行う必要があります。

B. タイル(厚さ 20mm 以上)には取り付け穴があり、専用のプラスチックコネクタを使用します。

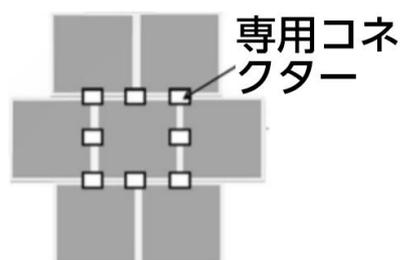
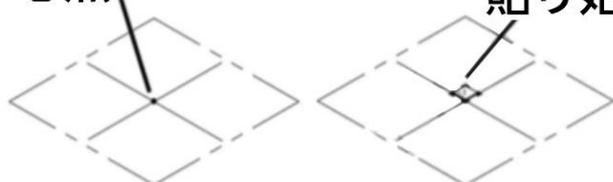


C. 広いエリアでは、50 m²ごとに分けて施工してください。

D. それぞれのエリアでは、中心部から施工を始めてください。

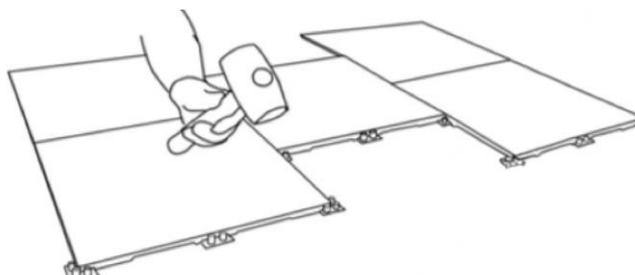
中心点

貼り始め



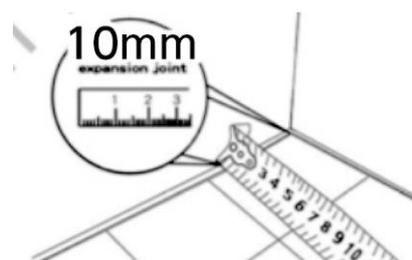
E. 図のような馬張りをお勧めします。

F. ゴムハンマーでしっかり叩き、表面が平滑になるようにします。

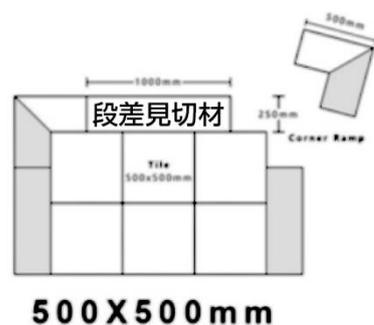


G. 壁際は金属製の定規とカッターナイフを使用してカットします。

H. タイルを壁に押し付けしないでください。周囲に 10mm の隙間を空けてください。

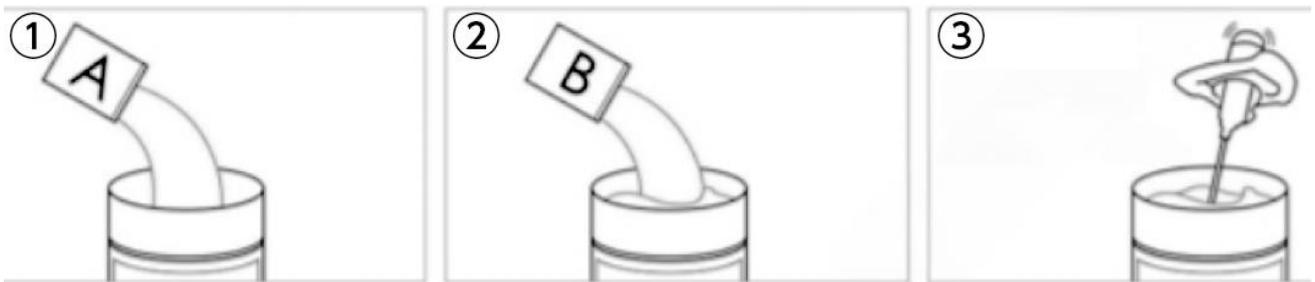


- I. タイルが動かないように、周囲全体を囲われた状態にしてください。
- J. 周囲に囲われていない（オープンエッジ）がある場合は、隣接する床仕上げへつなぐスロープとして「段差見切り材」を使用してください。

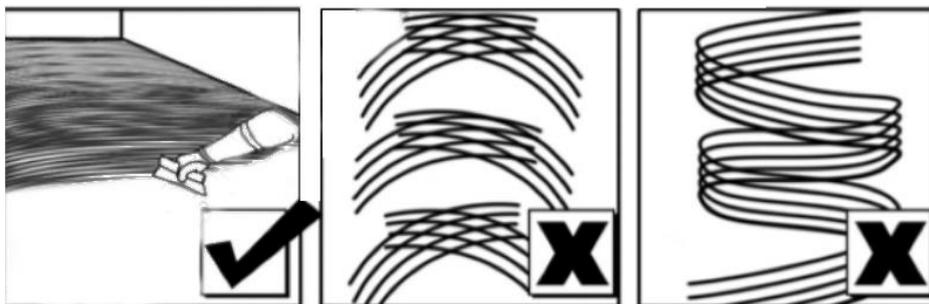


⑤屋外への施工(コネクターと接着剤が必須)

- A. 屋外設置の場合は傾斜を設けるなどして水がたまらないように計画してください。
- B. 2液性ポリウレタン接着剤の使用をお勧めします。接着剤の性能が不明な場合は、接着剤試験の実施をお勧めします。
- C. 接着剤メーカーの指示に従って、ミキサーで混ぜます。

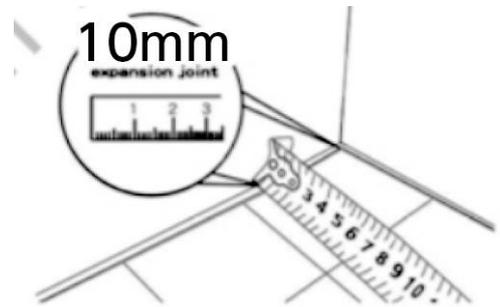


- D. 施工する場所にクシ目ゴテを使用して接着剤を均等に塗布します。全面に塗布し、空きスペースを残さないでください。



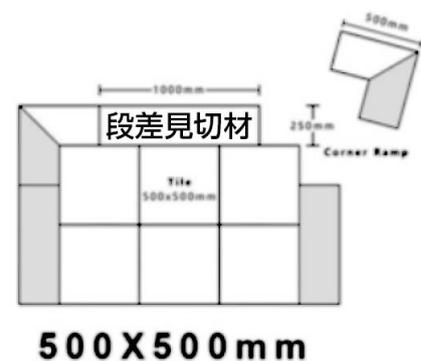
- E. 粘度が効いたら、タイルを湿った接着剤の上に施工します。詳細は接着剤メーカーの指示に従ってください。
- F. ゴムハンマーを使用してしっかりとタップし、タイルとコネクターを平らにして隙間を取り除きます。

- G. 壁際では金属製の定規とカッターナイフを使用してタイルをカットします。タイルを壁に押し付けず、伸縮継手の周囲に 10mm の隙間を空けてください。



- H. タイルが動かないように、周囲全体を囲われた状態にしてください。
- I. 周囲に囲われていない（オープンエッジ）がある場合は、隣接する床仕上げへつなぐスロープとして「段差見切り材」を使用してください。

- J. タイルの上を歩くのは、接着剤が十分に硬化してからにしてください。



⑥ 清掃

- A. 日常的に、表面の土、破片、砂、砂を取り除いてください。
- B. 中性洗剤で汚れを落とし、ウェットバキュームを使用して床の余分な水を取り除いてください。
- C. 床を明るく保つために、定期的なメンテナンスとして透明な液体ワックスを使用してください。